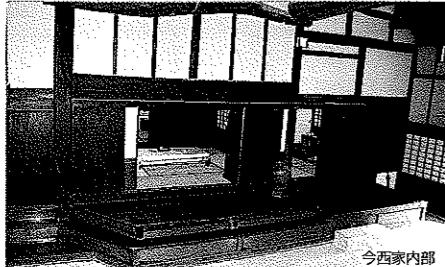


今井町の歴史

今井の地名は至徳三年（1386）の興福寺一乘院の文書にみえるが、今井町の成立は戦国の世、天文年間（1532～1555）この地に一向宗本願寺坊主の今井兵部卿豊寿によって寺内町を建設されたことに発する。一向宗の門徒が、今井に御坊（称念寺）を開き、自衛上武力を養い、濠をめぐらし、都市計画を実施した。永禄十一年（1568）織田信長が、足利義昭を擁して上洛以来、本願寺も反信長の旗を立て、寺を中心とした城塞都市の形態を整え、抵抗したが、天正三年（1575）今井氏は、明智光秀を通じて信長に降服し、事なきを得た。かくして、大坂や堺などとも交流がさかんになり、商業都市としての変貌をとげ、江戸時代には南大和最大の在郷町となって、大いに栄えた。また、堺と並び自治的特権が認められ、惣年寄、町年寄をおき町政にあたらせた。



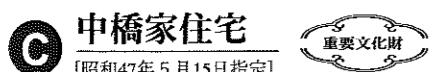
A 今西家住宅
[昭和32年6月18日指定]
重要文化財

今西家は、永禄9年（1566）今井町に入町した十市兵衛達忠の一族で、もと川井氏を名のっていたが、三代目から今西姓になった。惣年寄の筆頭で、領主、代官の町方支配の一貫を担い、自治権をゆだねられていた。八つ棟造りは、その役柄に相応した建物で、棟札には慶安3年3月22日（1650）の年代が記され民家というよりも城郭を思わせる構造で、今井町の西口にあり、その西側は環濠となっている。外壁を白漆喰塗籠めとし、大棟の両端に段違いに小棟を付け、入母屋造の破風を前後段違いに見せ、本瓦葺の堂々とした外観をもっており、わが国の民家建築史上貴重な建物である。



B 豊田家住宅
[昭和47年5月15日指定]
重要文化財

豊田家は、もと、西の木屋（材木商・牧村家）で大名貸しや藩の歳元等をつとめた。建物は寛文2年（1662）のもので、屋根は入母屋造本瓦葺、軒は高く、2階は出桁造、2階正面壁に、丸に木の字の紋があり、外觀は今西家と同じように、豪壯で古い手法がみられ、今井町における上層階家の優れた好例である。



C 中橋家住宅
[昭和47年5月15日指定]
重要文化財

中橋家は、屋号を「米彦」といい、江戸時代は米屋を営んでいた。この家は、称念寺の斜め筋向いに面し、18世紀以降の文書を比較的多く所蔵し、天保から嘉永にかけて、称念寺に絹料を納めた記録もあり、幕末には繁榮していたことが知られる。この住宅は、18世紀末の建設とみられ、19世紀初期頃正面のみ、つし2階を増設した切妻造本瓦葺の商家で、修理の際一口のカマド跡も発見された。



D 上田家住宅
[昭和47年5月15日指定]
重要文化財

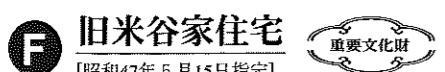
上田家は、屋号を「壺屋」といい、今西家、尾崎家とならび今井町惣年寄を勤めていた。この住宅は、延享元年（1744）の祈禱札がありこの頃の建設とみられる。

入母屋造本瓦葺平入、つし二階建で、大壁造の妻をみせた外觀は重厚な感じを与える。構造面では、棟通りに対してほぼ対称的な梁組は古式で、入口を西に構えているのも珍しい。



E 音村家住宅
[昭和47年5月15日指定]
重要文化財

音村家は、屋号を「細九」といい、金物問屋を営んでいて、17世紀後半頃の建築と推定される。屋根は切妻造本瓦葺平入で、正面のみ、つし2階を設けている。後主屋の西北隅に、二間続きの「つのざしき」を増設し、さらに安政元年の大地震の翌年（1855）には、つのざしきに接続して、西側に「ざしき」を建設し、床、棚、書院、風呂、便所も付属して、西側道路に門を開き、直接ざしきに通じるようになっている。



F 旧米谷家住宅
[昭和47年5月15日指定]
重要文化財

旧は米谷家で、屋号を「米忠」といい、金具商を営んでいた。年代は形式手法から、18世紀中頃の建築と推定される。切妻造本瓦葺平入で、内部は5間取りで、他家とは異なる。土間部分は、煙返し等が取付けられ、農家風のイメージが強い。また、裏庭にある蔵前座敷を付属させた上蔵は、嘉永2年（1849）の建物である。



旧米谷家内部 蔵前座敷

今井町の町並

称念寺を中心とした寺内町今井は完全な城塞都市で、江戸時代初期の概略を考えると、東西600m、南北310m、周囲には環濠土居を築いた戸数1100戸、人口約4,000数百人を擁する财力豊かな町であった。町割は西、南、東、北、新、今の大町に分かれ、9つの門からは木橋を通って濠を渡り、外部の道路と連絡している。内部の道路で見通しのきくものではなく、ほとんどが一度屈折させてある。これは、敵の侵入に備えて、その遠見、見通し、弓矢・鉄砲の射通しを不可能にしたものであった。これらは当初、軍事目的のためにつくられたものであるが、江戸時代中頃は富裕な商人の生命、財産等を外部から守るというものに変貌した。

現在も、今井町の大半の民家が江戸時代以来の伝統様式を保っており、しかも慶安3年（1650）の今西家をはじめ、すぐれた民家が数多く建ち並び、今なお、町全体が戦国時代にできた寺内町の歴史の重さをすっしりと感じさせている。



G 河合家住宅
[昭和51年5月20日指定]
重要文化財

河合家は、屋号を「上品寺屋」といい、家蔵文書によると、明和9年（1772）には、すでに酒造業を営んでいたらしい。正面に太い格子を入れ、2階は塗籠となっている。屋根の東側は入母屋造、西側は切妻造の本瓦葺で、外部意匠にみるべきものがあり、また、内部においても、座敷を2階に配した点に特色がある。

H 高木家住宅
[昭和47年5月15日指定]
重要文化財

高木家は、屋号を「大東の四条屋」といい、酒造業を営んでいた。この建物は、切妻造本瓦葺平入2階建で、前面の格子は本割が細く、吹寄せのところもあり、幕末の家らしい質、保存が良く、幕末期の2階の発達した今井町上層民家の好例である。

I 称念寺本堂
[平成14年5月23日指定]
重要文化財

今井町は、この寺の境内地に発達した寺内町である。本堂は、近世初頭に再建されたもので、外廻りに角柱を並べた大規模真宗寺院の特徴をよく表した建物で、屋根は大きな入母屋造本瓦葺で東面している。付属建物も数多く存在し、明治10年、天皇の勘定御陵行幸のとき行在所となった。

J 吉村家住宅
[昭和56年3月17日指定]
県指定文化財

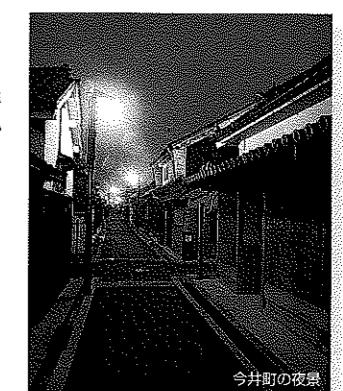
旧は上田家で、屋号を「壺八」といい、手広く肥料商を営んでいた。主屋は北蔵坊通りに面し、後方には多くの建物が、狭い敷地を巧みに利用して建っている。主屋は文化2年（1805）の再建とみられるが、他の建物は、主屋より約50年程遅るものとみられる。

K 山尾家住宅
[昭和60年3月15日指定]
県指定文化財

山尾家は、「十市郡新堂村」より移住したと伝えられ、「新堂屋」の屋号で、幕末には、町年寄を勤めた大商家である。道路に面した広大な敷地に、主屋をはじめ、主屋西側には座敷を接続し、その北側に内蔵を配し、主屋の東側には道路上に沿って穀蔵所、東蔵が並んでいる。主屋は、東側に通り上間をとり、西側に6間取りの居室をとっている。2階は正面のみ「つし2階」を設け、外側は正面付本瓦葺であるが、背面は桟瓦葺の葺降しとなっている。主屋は、構造手法等から、18世紀後半頃の建設とみられるが、その後部分的な改造がみとめられる。

L 旧高市郡教育博物館 =今井まちなみ交流センター「華麗」
[平成2年3月9日指定]
県指定文化財

今井町旧環濠外の東南部にある。2階建の本館を中心に配し、両側に左右対称に翼廊がある。明治36年に建設された博物館であるが、昭和初年より約30年間今井町役場として使用されていた。外観は大和にふさわしく、和風的にまとめた県下では数少ない明治建築である。



M 旧常福寺観音堂
[昭和51年12月1日指定]

N 称念寺太鼓楼
[平成6年11月7日指定]

O 稔念寺庫裡・客殿・対面所
[平成10年3月20日指定]

P 順明寺表門
[平成6年11月7日指定]

Q 旧常福寺表門
[平成6年11月7日指定]

今井まちなみ交流センター「華麗」へのご案内

伝統的建造物群とは

昭和50年の文化財保護法の改正によって、伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存しようとする制度です。

今井町は、寺内町として、平成5年12月8日に「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。

〒634-8586 奈良県橿原市八木町1丁目1番18号
TEL 0744(22)4001 橿原市観光課
〒634-0078 橿原市八木町1丁目7番36号(橿原市役所北館1階)
TEL 0744(20)1123 (社)橿原市観光協会

わたくしたちボランティアガイド
今井の町をご案内します!

ガイド料は無料

但し、交通費としてガイド1名につき1,000円申し受けます。
案内が食事時間帯にかかる場合は食事料費も負担願います。

お申込みは
1週間前までに

(受付は平日のみといたします。)

お申し込みは、橿原市観光協会へ

施設関係一覧表

	● 建物	● 建物併設	● 広場	指定建造物	○	備考
① 今井まちなみ交流センター「華麗」 (旧高市郡教育博物館) 月曜休館	☎24-8719	⑥ 中町筋生活広場(防災小屋・防火水槽)		Ⓐ 今西家住宅	—	(4/15～5/14)(10/15～11/14) 10:00～17:00・12:00～1時間休
② 今井まちづくりセンター	☎29-9885	⑦ 南町生活広場(南口門・防火水槽)		Ⓑ 豊田家住宅	25-0418	
③ 今井まちや館	☎22-1287	⑧ 旧西町生活広場予定地		Ⓒ 中橋家住宅	22-7288	事前連絡要
④ 今井景観支援センター	☎29-7815	⑨ 旧北町生活広場(防災小屋・防火水槽)		Ⓓ 上田家住宅	23-5457	事前連絡要
⑤ 今井町並保存整備事務所	☎22-4001 (内線6675・6676)	⑩ 今井都市緑地		Ⓔ 音村家住宅	23-0089	
		⑪ 今井第二都市緑地		Ⓕ 旧米谷家住宅	23-8297	無料 月曜休
		⑫ 今井児童公園		Ⓖ 河合家住宅	22-2154	
		⑬ 北環濠小公園		Ⓗ 高木家住宅	22-3380	
				Ⓘ 称念寺	22-5509	
				⒁ 吉村家住宅	23-0125	事前連絡要
				⒂ 山尾家住宅	23-9478	事前連絡要

○団体は予約が必要です ○施設によっては有料となる場合があります

(橿原市市外局番 0744)

見学 個人の住まいなので、居住者の都合により見学できない場合もあります。

伝統的建造物群とは

今井まちなみ交流センター「華麗」へのご案内

名古屋から

近鉄名古屋駅・近鉄大和西大寺駅
・近鉄名古屋・大阪線特急 …約2時間

京都から

近鉄京都駅・近鉄大和西大寺駅
・近鉄京都線・橿原線特急 …約50分

大阪から

JR新大阪駅・近鉄橿原線
・JR大阪環状線・橿原線 …約1時間30分

奈良から

JR奈良駅・桜井線 …約2時間

大阪から

近鉄難波駅・近鉄大和西大寺駅
・近鉄大阪線特急 …約40分

京都から

近鉄上本町駅・近鉄大和西大寺駅
・近鉄大阪線特急 …約30分

奈良から

JR奈良駅・橿原線 …約50分

大阪から

JR新大阪駅・近鉄橿原線
・JR大阪環状線・橿原線 …約1時間30分

奈良から

JR奈良駅・桜井線 …約2時間